

第19回 図書館総合展フォーラム  
「次世代リポジトリを考えよう」  
2017年11月7日 第6会場



# 次世代リポジトリに向けて ：持続性と運用可能性

田園調布学園大学図書館  
高野 沙弥

## 発表者所属・概要

学校法人 調布学園 田園調布学園大学

学部構成：学部 2学部（人間福祉学部・子ども未来学部） 3学科  
大学院 1研究科（人間学研究科）

学生定員：1,210名

専任教職員数：教員 54名 職員 27名(うち図書館職員1名)

## 沿革

---

1926年	東京・田園調布に調布女学校（現・田園調布学園 高等部・中等部）調布幼稚園設立
1967年	神奈川県川崎市の現在地に調布学園女子短期大学を設立
2002年	田園調布学園大学開学、人間福祉学部開設 調布学園短期大学を田園調布学園大学短期大学部に名称変更
2008年	田園調布学園大学短期大学部廃止
2015年	田園調布学園大学大学院 人間学研究科開学

---

- ・ 次世代って、何が次世代？  
たとえば・・・（データとか）コンテンツの拡充がユーザにとっての次世代なら、寝てる間にコンテンツが勝手に増えてくのが、（多くの）図書館員にとっての次世代？
- ・ 正直、今でも小規模大学は精一杯頑張っています  
「日本の図書館」：専任ワンオペ図書館を数えようと思ったけど、途中であきらめ→それだけ、増えてますよね。  
正直、専任不在（完全委託or非常勤のみ）も相当数。（特に私立）
- ・ 私たち、どうすればいいの？  
難しい言葉は沢山！画面が変わると、どこ触っていいのかわかりません。  
何をすれば、**OK**ライン？偉い人教えて！！誰か決めて！！！！

- ・“誰かが決める” 待ちの姿勢からの脱却  
「何もできない」ではなく、「何ならできる」への転換  
「これはできない」ではなく、「こうすればできる」への転換

たぶん、これができなければ少ない人材でリポジトリの持続性を（機関  
できえも）担保することは難しい。

- ・どんなに機能を拡充しても、登録するコンテンツのタイプを  
増やしても、メタデータを増やしても・・・  
リポジトリが続けられなければ、探せない・見つけられない。

持続性の担保、できていますか？

- ・ 現リポジトリ業務で感じているさまざまな日常の困難  
コンテンツを集めるのが大変  
研究者の理解と協力を得るのが大変  
メタデータの入力（登録）も大変  
著作権のチェックはもっと大変（ちょっぴりこわい）  
人手も時間もお金も足りない
- ・ システム面での革新への期待と運用サイド（機関側）の意識改革  
たとえば、、、  
メタデータの入力をもっと楽に  
**SHERPA/RoMEO**や**SCPJ**に頼らない著作権チェック  
(できれば機械が勝手に判断)  
学内の他リソースとの連携を簡単に

機能が揃ったとき、あなたはどうしますか？

2年先、5年先のために今からできることは何ですか？